

## 事業評価シート

担当課・室長：環境教育推進室長

事業名	プログラムの整備、情報の提供
上位施策名	環境教育・環境学習の推進
1 事業の概要	<p>持続可能な社会を構築するためには、各主体が行動に環境配慮を織り込んでいくことが不可欠であり、環境教育・環境学習を推進することが重要。</p> <p>本事業は、地域における体験を重視した自主的な環境教育・環境学習や実践行動を推進するため、</p> <p style="padding-left: 2em;">自然系のみならず都市・生活系の分野を含めて、段階的・体系的なプログラムの整備や先進的なプログラムの開発、地域の実情に応じたプログラム整備の支援</p> <p style="padding-left: 2em;">環境に関する情報を必要なときに必要な形で入手できる情報基盤の整備</p> <p>を図るものである。</p>
2 進捗状況	<p>平成 11 年度より、年度ごとにテーマ（11 年度：廃棄物、12 年度：水、13 年度：大気）に沿って国内外の取組事例やプログラムを収集・整備し、冊子「環境学習」を作成して全国の市区町村等に配布。</p> <p>国際連合大学と共同で東京に開設している環境情報・交流センターである「地球環境パートナーシッププラザ」に、平成 13 年度に環境情報ホームページ「環境らしんばん」を開設し、その中で、環境学習拠点施設の情報を提供。</p>
3 評価	<p>国のみならず、地方公共団体、民間団体等においても、プログラムの整備を行っているが、配布している冊子においては、学習プログラムに求められる視点の整理やプログラムの展開例の提示等も行っており、配布先以外からも冊子を求める声が上がっていた。地域におけるプログラムの一層の整備や環境学習基盤の整備に役立つよう、今後も取り上げるテーマに応じた学習の枠組みの整理や段階的・体系的なプログラムの整備・提供等に努めていく。</p> <p>また、これまで取組事例やプログラムの提供先は地方公共団体が中心であったことから、今後は多様な主体によるプログラムの活用を促進するため、インターネットやCD-ROM等電子媒体により、広範にプログラムを提供していく。</p> <p>「環境らしんばん」にアクセスすることにより、拠点施設の概要や環境学習に関する資器材の保有状況等の情報を得ることができるよう、各主体の主体的な環境学習の推進に役立っている。</p>
4 予算事項名	・環境学習支援事業
5 対応副施策等	